

支援は御“縁”から“始”まります。私たち4人の支援専門員が“縁”あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。



始縁だより

発行 平成27年7月号

梅雨の時期ということですが昼夜の気温差があり、毛布や布団を出した方も多くいるようです。世界中が火山の噴火や地震で天変地異が起きています。また今からの季節、雨による災害も、高知県では逃れるわけにはいかない災害の一つです。備えあれば憂いなしです。いつでも避難できる準備をしておきましょう。

災害時の心得；寝室や出入りに家具を置かない
；避難場所の確認をしておく・防災用品を持ち出し袋に用意
；防災意識が必要：防災放送の確認。近所の人に声かけ依頼
；薬・めがね・入れ歯は非難品として忘れないで



pixta.jp - 7929810

～柳子の訪問日記～

毎月15日を過ぎると利用者様宅を1軒1軒回ってご本人の体調や顔の表情、介護の様子、介護者の身体状況、服薬の状況、時には向う3軒両隣の人の確認をさせてもらうこともあります。山間地の訪問だと1日130km位走り、5軒のみのお宅訪問になることもあります。訪問先で1人の男性利用者様の生きざまに感動をしたので日記に書いてみました。

70歳代男性：妻と2人暮らし、山間地に住み、若い頃は農業と土木工事に従事し、3人の子供さんを育て、子供さんはそれぞれ独立し家庭を持ち、県外や町外で生活をしています。夫婦で、子供さんに農業の仕事を、しっかりと仕込まれたであろうと思うことは、男の子2人共に農繁期には帰ってきて農業を手伝い、また帰っていく、この手伝いを就職して20年以上続けている。また、88か所を家族で巡っていたようですが、体調を崩したために、香川県を残しているということで、息子さんが休みを利用して帰省し家族で巡っています。88か所を巡ることが本人の願いでもあることから、家族は頑張ってお参りを支援したいと言う。そのために自宅でもできる事は自分でやる意欲を持ち、妻が畑に行けば同行し、できる事は無理のない範囲で手伝っている。横にいるだけで、妻の安定剤、心の支えになっているように感じるの、ケアマネだけではない様に思う。その成果の表れで、5月には香川県の雲辺寺他3カ寺巡って来ている。まだまだ巡って高野山が目標と言われる顔には力がある。

自己実現のために、全部を人に頼ることなく、自分でできる活動をしなが、生活の質を上げていく。このような支援をしていくことがケアマネの本分と思っている。自己実現ができる支援をしていきたい。そのためには、これから先の生き方を語ってもらえるように聞き上手なケアマネを目指したい